



旅日記

- ヨセミテ・キングスキャニオン・セコイア 鶴田 泰子

今年6/17-6/26の10日間、アメリカ、カルフォルニア州にある3つの国立公園、ヨセミテ、キングスキャニオン、セコイアの広大な自然に触れる旅をしてきました。

メンバーは男5名、女3名の、平均年齢68歳シルバー隊(シルバー割引の恩恵受けれた) 全員元気印の行動派。1日の行動12時間でも何のそのでした。

メンバーNさんのインターネットを駆使した綿密な手作りの計画書を基に、6/17日16:07成田を無事離陸。

余談になるが、日本~サンフランシスコの時差は-17h、1時間当たり経度で15°(360/24)違うのだから、日本はE135°なのでサンフランシスコはW120°位かなと考えていたら、サンフランシスコの街の広場で、石畳の絵の中に大きく緯度経度線が描かれ、N37°46'48.3、W122°24'45.1と記されていたのを発見。(写真)地理クラブの自覚が頭をよぎり、地球上のアメリカの地で自分の立っている正確な緯度経度を認識できたことに感動してしまっただ。



サンフランシスコ空港で厳しい

入国手続きをやっと済ませ、6/17日10:30チャーターした車でヨセミテに向かう。途中マーセドと言う町でレンタカーを借りて、3人はレンタカーでチャーター車の後についてくる形で、ヨセミテビューロッジまで2台で走る。(ヨセミテ公園内ではチャーター車なしでこのレンタカーをフルに使って移動、便利させてもらった。運転手のNさんは馴れない左ハンドルで緊張したことでしょう。)

ロッジはヨセミテ公園の手前、車で30分位の道路沿いのリバーサイドにあり、静かな谷間の自然な雰囲気が良い。ここに6泊するのだから想像以上にチェックインに難航。訛りの強い早口英語で、さっぱり会話が噛み合わず、案内された部屋が予約内容と違ったりで、部屋に落ち着くまでに2時間も要して18時過ぎになってしまった。遅くなり、言葉もよう通じないレストランに入る元気もなく、夕暮れの外のテーブルで、テイクアウトのピザとビールの夕食で何とか腹を満たし、明日に備えた。

6/18-6/22の5日間はヨセミテ公園をレンタカーとシャトルバスとツアーバスを使って、地図を片手に片言でほぼ計画に沿った行動をこなした。行動は大きく3つに分けて、1つ目はヨセミテバレーを中心に3日間、幾つものビューポイントを散策する。2つ目はグレッシャーポイントを1日ハイキング。3つ目は、山勘のすぐれたMさんがロッジのロビーで、日本人の公園レンジャーを兼ねたガイドを見つけてきて、タイオガロード沿いの高原地帯トゥオルミミドウを車で1日案内してもらった。

1つ目のヨセミテバレーは4000m級の山々が連なるシエラネバダ山脈の懐に抱かれたU字谷で深さ1000m、幅1600m、

長さ11.5kmもある、上高地の何倍もある感じ。マーセド川沿いに氷河に彫刻された巨大な岩峰が幾つも特徴ある姿を誇っている。岩山からは落差740mもの大きな滝や雄姿を誇った滝が轟々と白さを浮き彫りにして流れ落ち、氷河湖を思わせる鏡のような湖が深々と岩峰を映している。自然が何年もかけて造り上げた「神々の遊び場」といわれるところだ。

2つ目のグレッシャーポイントはヨセミテビューポイントからバスで1時間30分ほど登る標高2199mの絶壁のてっぺんのビューポイントで、そこからのパノラマ風景はシエラネバダ山脈を背景にヨセミテの岩峰をかかえた山々と滝と木々が織り成す箱庭を上から見渡すような絶景である。この感動した風景の中を6時間かけて降りてきた。眺めるより遥かにスケールが大きくてビューポイントに着いた時にはヘトヘト。それでも幾つかの山を越え、3つの大きな滝の上の川を渡り、滝の落ち口を上からのぞき、中間で滝のミストを浴び、下からはゴゴゴと落ちる滝を見上げ、巨大な滝に触れての下山は神々の気分。

3つ目のトゥオルミミドウの1日は実に名ガイドが我々のレンタカーを後に従えて朝7時-19時まで効率よく3000mの高原地帯を中心に案内してくれた。森や湿原、湖を散策したり岩山へ登り残雪の山々を写真におさめたりで濃い内容となる。しかも料金は3人分だけの600ドルで8人を案内して下さった感謝、感謝!

6泊のヨセミテはアツと言う間だった。1日8-12時間行動でも、朝食夕食はスーパーで食材を買って来て、部屋で調理して食べる早業、全員一致協力した学生の合宿のようなものだった。

6/23-6/25の3日間はレンタカーを返して全員チャーター車でキングスキャニオン、セコイアの両公園を急いで観光。グランド將軍の木、シャーマン將軍の木で有名な高さ80m以上樹齢2000年以上のジャイアントセコイアの巨木に触れ感激!世界の巨木がベスト30もある森林公園を車で走り、サンフランシスコに6/24日16時過ぎに着いた。ゴールデンブリッジを見てホテルに荷物を置き急いで市内観光、又地図を片手にシビックセンターからフィッシャーマンセンターまで足を伸ばし22時まで歩き回る。危うく夕食にありつけない所だった。ホテルのレストランに滑り込みセーフで助かった。機内食が行きより帰りの方が美味しく感じたのは何故かな? 6/26日17時成田に無事到着でホッとした。



写真: ヨセミテの岩峰(左上) 高原の湖にて(右上) シャーマン將軍の木(左下) グレッシャーポイントより(右下)

